

1面からのつづき

立嵩山小学校(愛媛県)
四国中央市立寒川小学校
(佐賀県) 唐津市立湊中
校、見借子どもクラブ

II 緊急時貢献表彰

防 火

(岩手県) 株式会社 岩手
銀行 金ヶ崎支店(東京
都) 矢口夏生

人 命 救 助

(青森県) 久保陽聖、佐々
木秀博(岩手県) 黒沢清治、
黒沢 繁(栃木県) 瀬間
陽太、田名網俊介、浜崎
リュウ、田中カイト、大
槻颯姫、柳澤陸斗、青山
諒平、村井朱里(埼玉県)
坂野功治(東京都) 岩崎
友己、宮土尚治、廣瀬恵
佳、門馬恵美子、北浜
実、布田 博、石井奈穂美、
鈴木裕也、高橋千景(静
岡県) 外岡吉文、外岡喜寿
外岡秀道、外岡精治郎(兵
庫県) 千葉和也、中谷雅行、
山口 梓(長崎県) 平田
夏樹(熊本県) 木場琉悠、
木場栄子(大分県) 若林
由衣、大石明弥、泥谷沙良
堀 綾花、渡邊快翔、小
野有柚子、松岡 駿、豊
島大空、田中大地、長谷
駿之介、工藤広四郎、仲
家一太、首藤 樹、川崎
大輝、甲斐早織

III 国際貢献表彰

(岩手県) 岩手県立一関
工業高等学校(宮城県)
只野輝成(茨城県) 龍ヶ
崎市国際交流協会(静岡
県) ポーランド市民交流

友の会・浜松(三重県)
細川 稔(京都府) 小川
雄暉(福岡県) 羽根正俊

IV 外国人善行表彰

(北海道) フセイン・ザ
ナティール(岩手県) 遠
藤ペルリタ(ポーランド)
少年少女舞踊団(アメ
リカ) 横田基地協会カ
トリックコミュニティ、
二〇一九関東地区スペ
シャルオリンピック委員
会、オースティン・プ
ルーム、第三七四施設中
隊ボランティアチーム、
第一八兵站即応中隊車
両整備小隊

二、特別善行表彰
選考委員会

一般社団法人日本善
行会は、二月二十六日
(水)、グランドヒル市ヶ
谷会議室において、令和
二年度特別表彰善行金
章・善行銀章受賞者の選
考委員会を開催した。
選考委員会では、本会
の各支部をはじめ多く
の推薦機関から推薦さ
れた候補者について、善
行継続年数や善行銀章
及至善行(銅)章受賞後
の善行活動の状況につ
いて慎重に審査を行っ
た。

その結果、栄えある受
賞者として、善行金章受
賞者三十三名と善行銀
章受賞者九十六名を決
定した。
なお、表彰式は十一月
二十一日(土)に、秋季
と同時に明治神宮参集
殿において行われる予
定である。

◇善行金章(三十三名)

(敬称略)

(北海道) 齊藤 勉、藤
川英幸(青森県) 佐々木
みよ、高木弘子(宮城県)
千葉源治、野中久子(群
馬県) 吉田輝男、井上藤
男、芝美智子、深谷 茂
田島昌代、大熊信行、松
本好司(千葉県) 白井榮
一、小林 稔(東京都)
桑田元一(神奈川県) 吉
井 勇(福井県) 松本一
男(愛知県) 塩谷直子(滋
賀県) 田中豊治(大阪府)
平畑 弘、井田秀夫、宮
浦ミネ子(兵庫県) 小川
初男、久須國子、石井麻
子(香川県) 大林セツ(福
岡県) 山富志郎、是枝亮
子、平川貴史(長崎県)
中島竹輔(熊本県) 佐久
間公弘(大分県) 松井
猛

◇善行銀章(九十六名)

(北海道) 三浦勝利、松木
昇、西館喜代子、小西
功圃、横堀邦夫(青森県)
蝦名良子、町田光司、山
本喜久、野呂與志勝(岩
手県) 山崎隆男、和賀八
代子(宮城県) 内池榮子、
鈴木徳子、吉田日出子、
三浦 忍、日野 修、鈴
木忠雄(福島県) 鳴原仁
子、國分征四郎、細部き
く子(茨城県) 笹島 啓
(栃木県) 佐藤裕信、荻
原良生、降幡静子、鈴木
隆守(群馬県) 吉本賢一、
佐藤 孝、池島敏子、井
部孝一、小林江津子、戸
丸富美子、大和英雄、石
井禮子、津久井信次、飯
塚祐子、角田秀夫、松本
憲吾、曾我幸治(千葉県)
上原 潔、岸 辰哉、三

森郁子(東京都) 稲垣喜
光、久保 猛、松澤育男、
眞田玉雄、増田伸幸、梶
原陽子、鈴木文康、長谷
川喜重(神奈川県) 石川
サヨ子、山鼻昭夫(長野
県) 伊藤ひで(福井県)
生田健一(静岡県) 菅野
寛也、榊林静男、長谷
勇(愛知県) 加藤和雄、
松山 信(大阪府) 北口
幸三、城島末明、小高秀
昭、吉川英次、砂川敬子
(兵庫県) 宮村文隆、橋本
新一郎、鈴木芳江、藤井
美代子、安藤博美、四方
玲子(岡山県) 實盛祥五、
小池敏彦(香川県) 松岡
悟(福岡県) 渡部久雄、
大槻茂男、原田享純、平
田俊興、山田 茂、加藤
律代、有本 篤、今村利
之、廣瀬明子、棟形和義
(佐賀県) 池田 一、牧山
勵(長崎県) 小野原茂、
宮島大典、末次精一(熊
本県) 吉田薫子、宮本廣
美、鍛柄清嘉(大分県)
漆間桂造、立川 壽、片
山繁則、石田義則、山崎
一恵、釘宮英嗣

■訂正とお詫び

二月号の川柳で真
野和代様の川柳が交
通の安全願う子供た
ち(昨年十月号に掲
載された神鳥谷知己
様の川柳)と掲載さ
れていました。正
しくは、参道に腰を
下ろして秋ながめで
す。真野和代様及び
神鳥谷知己様にご迷
惑をおかけしました
事を深くお詫びを申
し上げます。

支部だより

兵庫県支部

新年交礼会の開催

令和元年度の新年交礼
会が令和二年一月二十五
日(土)、湊川神社内楠公
会館において、本年度担
当の宮村文隆神戸プロッ
ク長(副支部長)を筆頭
に、神戸プロックの役員
の皆様をはじめ、支部役
員のお話をしめ、支部役
員六十一名の参加の下、盛
大に開催された。
司会の古川清代美さん
の進行の下、宮村神戸プ
ロック長の開会のことば
に、続き、服部忠彦支部
長から新年の挨拶があつ
た。
我々会員にとって、目
出度い三つの重なり事が、
この三年間続くことがわ
かった。
まず一つ目は、元号が
改められ平成から令和へ
の改正、令和元年は国民



的祝賀の年であった。
二つ目は、令和二年は
千支の初年の「子」の年
であり、また、国民の待
ち続けた東京五輪の記念
すべき年である。
最後の三つ目は、令
和三年は我が支部創立
三十五周年の年である。
目出度い記念の年である。
創立三十五周年記念行事
は物資両面の諸情勢から式
典は中止、会員一人ひとり
が再認識をして令和三年度
の各行事に冠として、取
り組んでいきたい。

大分県大分支部

新年祝賀会を開催

令和二年一月二十五
日(土)、大分市内のセ
ンチュリーホテルにおい
て新会員の歓迎と、親睦
を目的に「新年祝賀会」
を開催しました。十一時
二十五分には全員が揃い、
別の部屋で集合写真を撮
り、パーティー会場へ移
動しました。今年も総合
司会をベテランの田仲満
紀子さんにお願ひしまし
た。支部長あいさつに続
き、祝吟(祝賀の詞)佐
藤満洋副支部長、祝舞(大
雪山)新会員柴田東さん
そして乾杯、祝宴となり
ました。余興は前もって



お聞きしています。普段
から慰問活動等で活躍の
皆さん、みんな楽しんで
コッスを心掛けています。
歌や踊りと尽きません。閉
会まで三十分となり、お
楽しみ抽選会全員で「今
日の日はさようなら」を
大合唱して閉会となりま
した。参加者は三十名程
でしたが、大変思い出しに
残る祝賀会となりました。

令和元年度
特別賛助寄付金

群馬県前橋支部
(一金 五万円)
チャリティーゴルフコ
ンペを開催し、その協賛
頂いた益金を本会に寄贈
*貴重な浄財のご寄付に
感謝いたします。

善行川柳

選者 東 逸平

○さあ五輪 みんな待ってる 平和鳩
北海道 齊藤 勉

評/さあ、皆が待ってますね。五輪で平和鳩が飛び
出すのを。同感。
○目を覚まし 今日命に ありがとう
宮城県 阿部 澄江

評/生死ギリギリの瀬戸際から目を覚ました時の感
動が感じられます。《今日の命に ありがとう》の
言葉が素晴らしいですね。
○硫黄島 兵士等の ご遺骨捧持し
東京都 神鳥谷知己

評/かつて戦争で玉砕した兵士達のご遺骨を捧げ
待っている魂を打つ言葉です。ここは《兵士等の》
よりも《兵士達の》とした方がよいのではないで
しょうか。

○誤嚥予防 詩吟楽しみ 咽鍛え
大分県 佐藤 満洋
評/《誤嚥予防で 詩吟楽しみ 咽鍛え》としては
どうでしょうか。言葉は、切れ切れになります
が、意味は繋がるのではないのでしょうか。

入会のおさそい

このように慶祝事が三
年間続く事が周知された。
続いて、高井國昭支部
相談役の発声で乾杯に移
り、来年度担当、有野勇
プロック長(副支部長)
による中締めで、盛会裡
の内に新年交礼会が閉会
した。

- 会員の種類
①普通会員(正会員)
個人 年額 五千元
法人 年額 一万元
②特別会員(正会員)
個人 年額 一万元
法人 年額 三万円
③賛助会員
個人 年額 千円以上
- ※明るいニュース年間
購読料五百円含む